



牧野記念庭園とは

牧野記念庭園は、植物学者牧野富太郎博士（1862-1957）の邸宅の跡地として、昭和33年（1958年）年より一般公開されています。牧野博士は大正15年（1926年）、当時は野趣豊かであった大泉の地に居を構え、昭和32年（1957年）に満94歳の生涯を終えるまで、自邸の庭を「我が植物園」としてこよなく大切にしました。平成20年（2008年）、老朽化による改修工事のため一時休園していましたが、平成22年（2010年）年8月にリニューアル・オープンしました。庭園には、約300種類の草木類が生育しており、それらのなかにはスエコザサやサクラ‘^{せん だい や}仙台屋’、ヘラノキなどの珍しい種類の植物も数多くあり、学問的にも貴重なものと評されております。